

公共施設適正化の推進について

1. 利用団体等との意見交換

今年度、以下のとおり意見交換等を実施

(1) 利用団体との意見交換

室蘭文化連盟理事会、武揚体育館利用者、だんパラスキー場利用団体など…延べ約 70 人

(2) 市民団体との意見交換

町内会連合会理事会、PTA 連合会会長会、市民活動センター登録団体など…延べ約 70 人

(3) 各委員会への報告・意見聴取

行政改革推進委員会、教育委員会定例会、社会教育委員の会に報告…延べ約 20 人

【主な意見概要】

- ・利用団体からは、市内や西胆振地域に同じ機能があるという基準について、詳細な機能は異なり代替とはならない等から、存続を望む意見が中心
- ・子育て世代からは、子育てしやすいまちの魅力として、水族館の存続を望む意見が多い。
- ・全体的な視点として、市のまちづくりや財政状況について市民理解を深める必要性の意見も多い。

2. HPでの意見募集の状況

(1) 概要

- ・募集期間：令和 4 年 5 月～8 月末日
- ・設問：「年代」「住まい」「施設の利用状況」、市の考え方(案)への意見など「自由意見」
- ・意見受付数：460 人から意見あり

(2) 募集結果の概要

- ・「施設の利用状況」に関し、どの施設も「利用したことがない」との回答が一定程度ある一方で、水族館はほぼ全ての回答者が一度は利用している結果
- ・「自由意見」に関して、水族館存続に対する意見が他施設と比べて特に多い。
- ・水族館以外の施設についても、存続を望む意見が中心だが、将来人口や財政状況から代替可能な施設は廃止もやむを得ないとの意見も一定程度あった。

3. 各施設の方向性について

利用団体や市民意見、将来の人口規模や財政状況などを踏まえ、総合的に判断した各施設の方向性は別紙のとおり

4. 今後の進め方

- ・建て替えしない施設に関して、代替機能の確保に向けた支援策について検討し、引き続き利用団体に説明、理解を求めていく。
- ・存続する施設に関し、存続のあり方についての具体的な検討を進める。